

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | すてっぶ天久1 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 1日 | ～ | 令和8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 18人 | (回答者数) 11人 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 1日 | ～ | 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6人 | (回答者数) 6人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 12日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 児童一人ひとりの特性や発達段階、興味関心を把握し、安心して過ごすことができる環境づくりを大切にし、児童が自分らしく活動できるよう配慮している。 | 職員会議やミーティングの時間を設け、児童の様子や支援内容について情報共有を行っている。日々の支援の中で気づいたことや変化について職員間で話し合い、より良い支援方法を検討しながら支援の質の向上に努めている。また、活動内容についても児童が楽しみながら取り組めるよう工夫を行っている。 | 外部研修への参加や職員同士の事例検討を通して専門性の向上を図り、より個々の児童の特性に応じた支援ができるよう取り組んでいく。また、児童の成長や変化に合わせて支援内容を柔軟に見直しながら、より充実した支援の提供を目指していきます。 |
| 2 | 保護者様との連携を大切にしており、児童の様子や成長について日々のコミュニケーションを通して共有しながら信頼関係の構築に努めている。 | 送迎時等、児童の活動の様子やその日の出来事を丁寧に伝えるよう心掛けています。また、保護者様から家庭での様子や困りごとを聞き取り、事業所での支援に活かすよう取り組んでいる。 | 必要に応じて個別面談の機会を設け、家庭での様子や支援に関する要望を丁寧に聞き取りながら、家庭と連携した支援が行えるよう努めていく。また、保護者が相談しやすい環境づくりを引き続き大切にしていきたいです。 |
| 3 | 活動内容を工夫し、児童が楽しみながら社会性や生活スキルを身につけられるよう支援を行っている。集団活動やゲーム活動などを取り入れ、友だちとの関わりやルール理解を自然に学べるようにしている。 | 運動活動や制作活動、集団遊びなど様々な活動を取り入れ、児童の興味や発達段階に応じて活動内容を工夫している。また、成功体験を積み重ねることができるよう、職員が声かけやサポートを行いながら活動を進めている。 | 地域の資源やイベントなどを活用し、社会体験や外出活動の機会を増やすことで、児童の経験の幅を広げていくことを検討していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 活動スペースが限られており、活動内容によっては十分なスペースが確保できない場合がある。 | 利用人数や活動内容により、スペースの使い方に工夫が必要になることがある。 | 活動内容ごとにスペースの使い方を見直し、グループ分け等を行いながら安全に活動できる環境を整えていく。 |
| 2 | 地域との交流機会が少ない。 | イベントや地域活動の情報収集が十分でない場合がある。 | 地域イベントの情報収集を行い、参加できる活動があれば積極的に参加することを検討していく。 |
| 3 | 職員間での情報共有にばらつきが出る場合がある。 | 業務時間やシフトの関係で、全員が同じタイミングで情報共有することが難しい場合がある。 | 記録や共有ツールを活用し、誰でも児童の状況を確認できるよう情報共有の方法を工夫していく。 |